

Dahua P2P機能 操作手順書 (1.01版)

2016年01月12日



三星ダイヤモンド工業 株式会社

it 事業部

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2015/12/24	新規			新規作成
1.01	2016/01/12	変更			手順の見直し

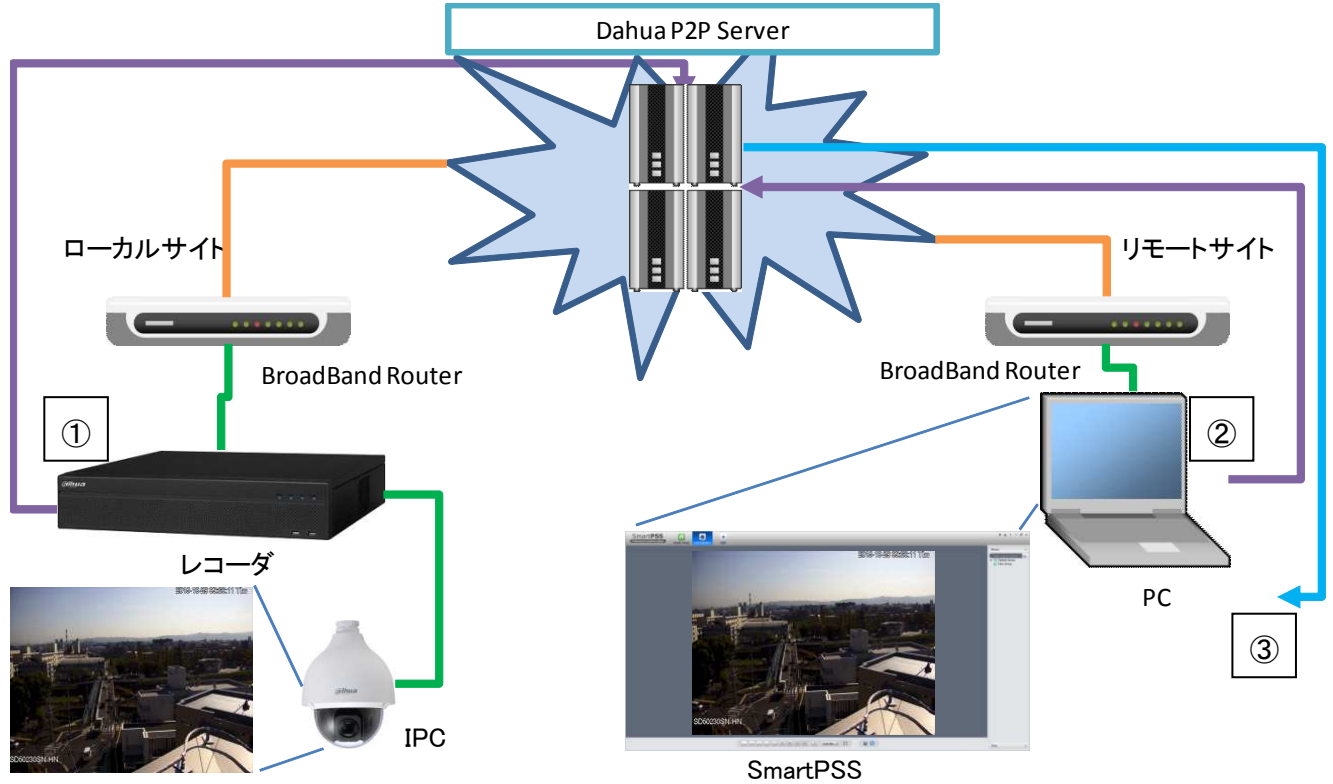
1. P2P 機能について	3
1.1. 機能概要	3
1.2. P2P 機能のメリット	4
1.3. P2P 機能を利用できるソフトウェア	4
2. レコーダ P2P 設定	5
2.1. P2P 有効化	5
2.2. P2P 機能を有効にできない場合	5
3. SmartPSS 設定	6
3.1. デバイス登録	6
4. iDMSS での利用	10
4.1. 作業の前に	10
4.2. DMSS 操作	10

1. P2P 機能について

1.1. 機能概要

P2P 機能は、リモートサイトから Internet 経由でローカルサイトの映像を参照できる機能です。
※本機能はレコーダに搭載されていますが、IPC には無い機能となります。

〈P2P 機能 利用イメージ〉



①ローカルサイトの P2P 機能の有効化

レコーダは、クラウド上の Dahua P2P Server にアクセスします。

②リモートサイトの接続

リモートサイトから Dahua P2P Server にアクセスし、機器のシリアル番号をキーにしてローカルサイトの機器を検索します。

③映像の取得

リモートサイトが、Dahua P2P Server から映像を取得します。

1.2. P2P 機能のメリット

P2P 機能を利用する事で、設定の手間を減らす事ができます。

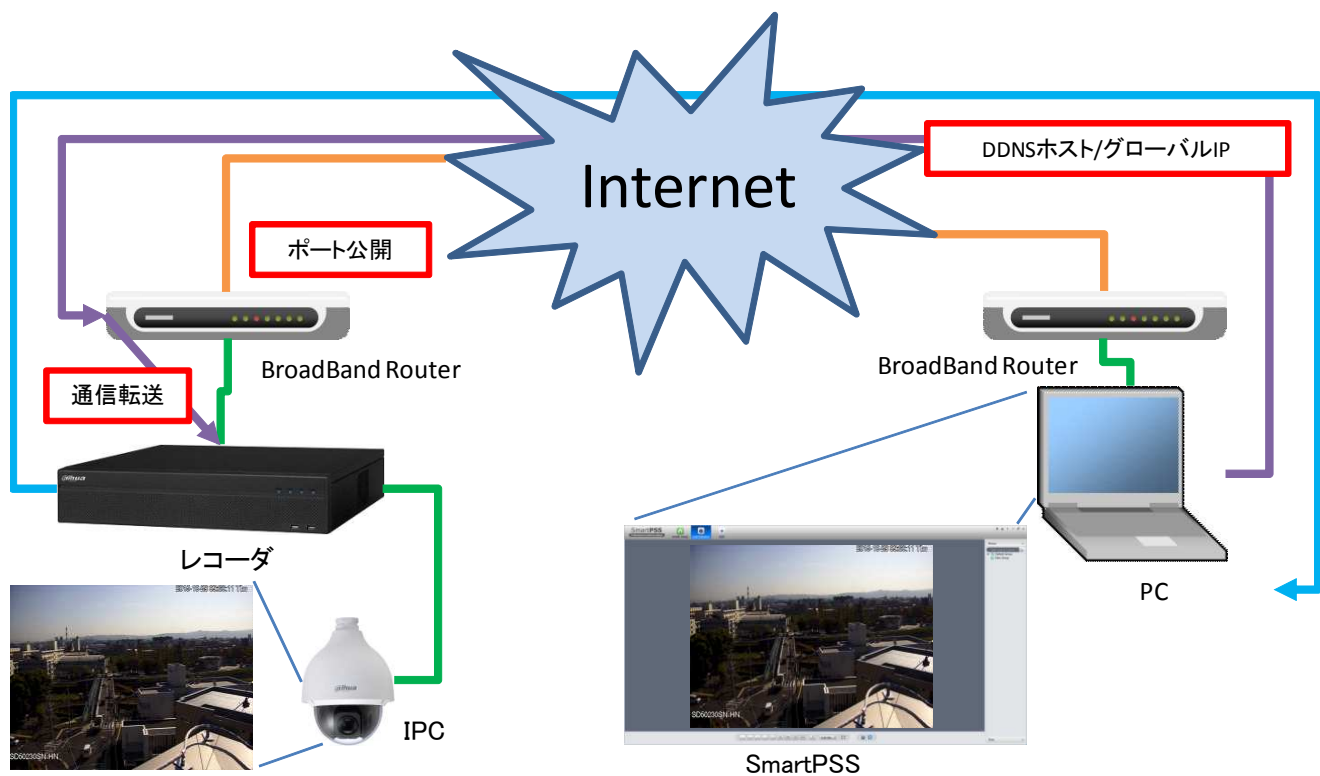
<設定比較>

設定	P2P	ポートフォワード
ブロードバンドルータへのポートフォワードの設定	×	○
DDNS の設定	×	△
グローバル IP の取得	×	△

<メリット>

ローカル/リモートサイトで Internet 接続が出来る環境があれば利用可能です。
プロキシサーバー経由で Internet にアクセスする場合、接続できない場合があります。

<参考:ポートフォワード機能 利用イメージ>



1.3. P2P 機能を利用できるソフトウェア

SmartPSS、iDMSS、gDMSS

2. レコーダ P2P 設定

2.1. P2P 有効化

2.1.1. P2P 有効化①

レコーダにログインし、「設定」→「P2P 設定」をクリックします。

2.1.2. P2P 有効化②

「有効」にチェックを入れ、「適用」をクリックします。

状態が「成功裏に接続する」と表示されたら、Dahua P2P Server への接続は成功です。

「SN」に表示されるのが、シリアル番号です。P2P 接続に必要なので、メモに控えて下さい。



2.2. P2P 機能を有効にできない場合

P2P を有効にしても「接続されなかった」と表示される場合、以下を確認して下さい。

① LAN ケーブルの接続

ブロードバンドルータへ接続されているか確認して下さい。

② Internet への接続

PC をブロードバンドルータに接続し、Internet へ接続できるか確認して下さい。

③ IP アドレスの設定確認

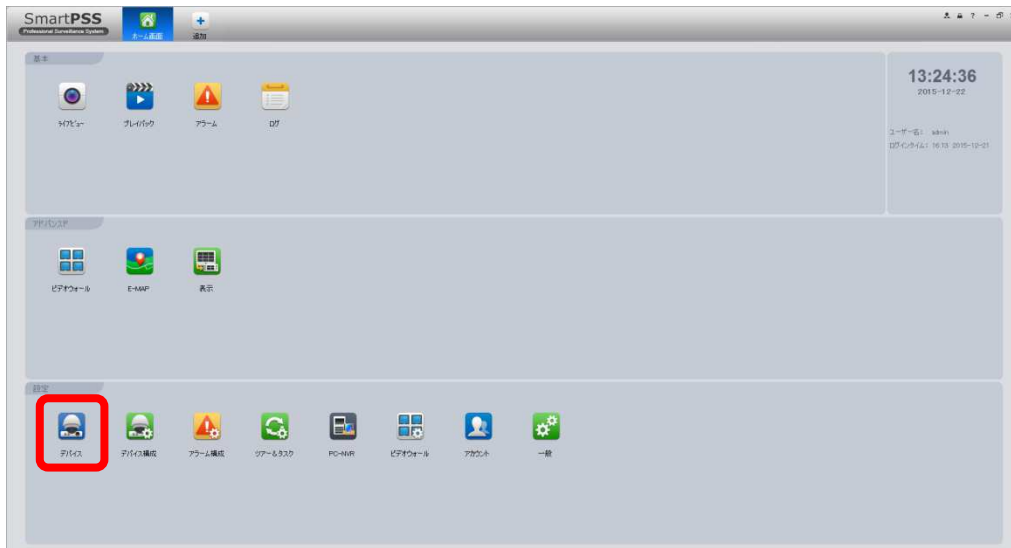
レコーダの IP アドレス設定が、ブロードバンドルータと同じネットワークに設定して下さい。

3. SmartPSS 設定

3.1. デバイス登録

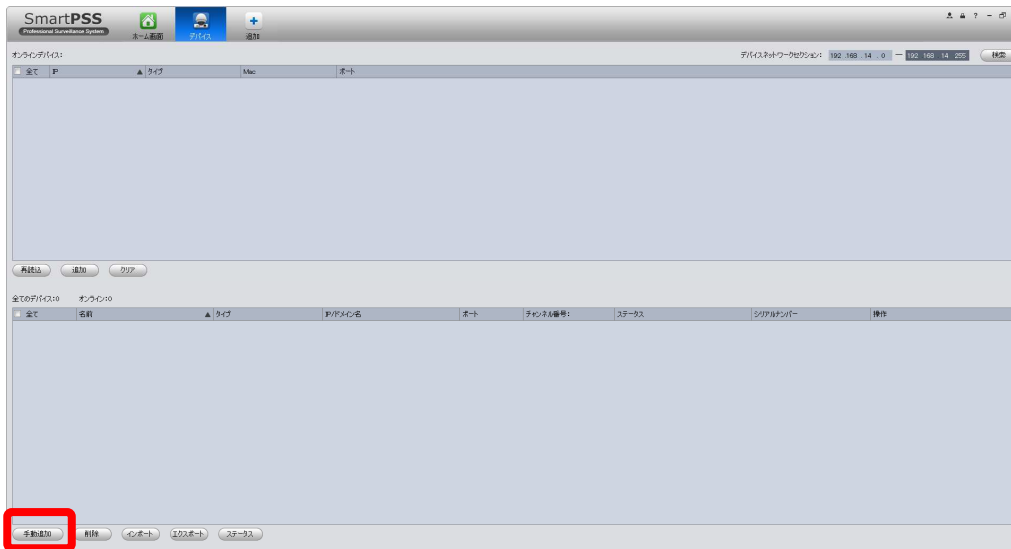
3.1.1. ホーム画面

「デバイス」をクリックします。



3.1.2. デバイス

「手動追加をクリックします。」



3.1.3. 手動追加①

入力情報に、必要な情報を入力したら「詳しい情報」をクリックします。

入力情報

デバイス名: TEST

登録モード: シリアルナンバー(P2P機能搭載デ)

シリアル番号:

ポート: 8777

グループ名: 初期設定グループ

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●

詳しい情報

デバイス情報

シリアル番号:

タイプ:

ビデオ入力:

ビデオ出力:

アラーム入力:

アラーム出力:

保存して続ける 追加 キャンセル

デバイス名 : 管理用の名前を入力します

登録モード : 「シリアルナンバー(P2P機能搭載デバイス)」を選択

シリアル番号 : 登録するレコーダのシリアル番号

グループ名 : 任意のグループを選択して下さい

ユーザー名 : 接続に使用するユーザ名

パスワード : 接続に使用するユーザのパスワード

3.1.4. 手動追加②

「デバイス情報」が入力された事を確認して「追加」をクリックします。
(エラーとなった場合でも、「追加」をクリックする事で登録は可能です。

入力情報

デバイス名: TEST

登録モード: シリアルナンバー(P2P機能搭載デ)

シリアル番号:

ポート: 8777

グループ名: 初期設定グループ

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●

詳しい情報

デバイス情報

シリアル番号:

タイプ: NVR

ビデオ入力: 2

ビデオ出力: 0

アラーム入力: 0

アラーム出力: 0

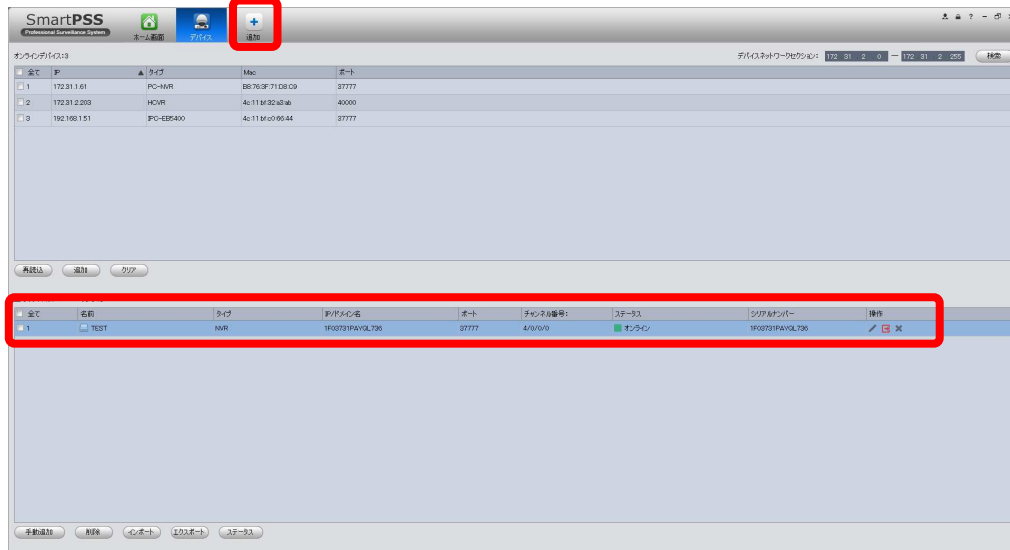
保存して続ける 追加 キャンセル

<エラーが表示される場合>

- レコーダが Internet に接続されているか確認して下さい。
- レコーダの P2P 設定を確認して下さい。
- SmartPSS をインストールした PC が、Internet に接続されているか確認して下さい。

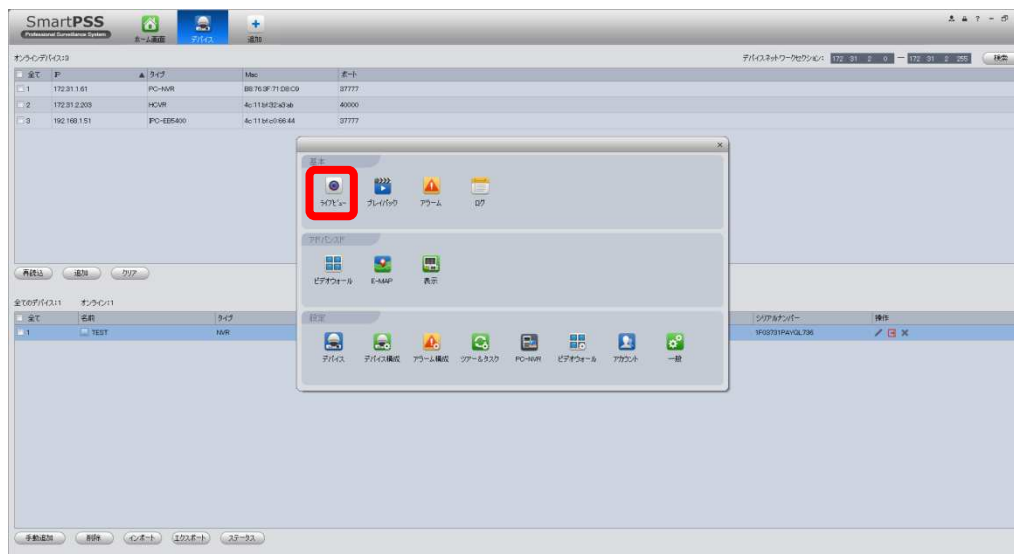
3.1.5. デバイス登録確認

デバイスが登録されている事を確認して下さい。
以後は例としてライブビューで接続を確認するので「追加」をクリックして下さい。



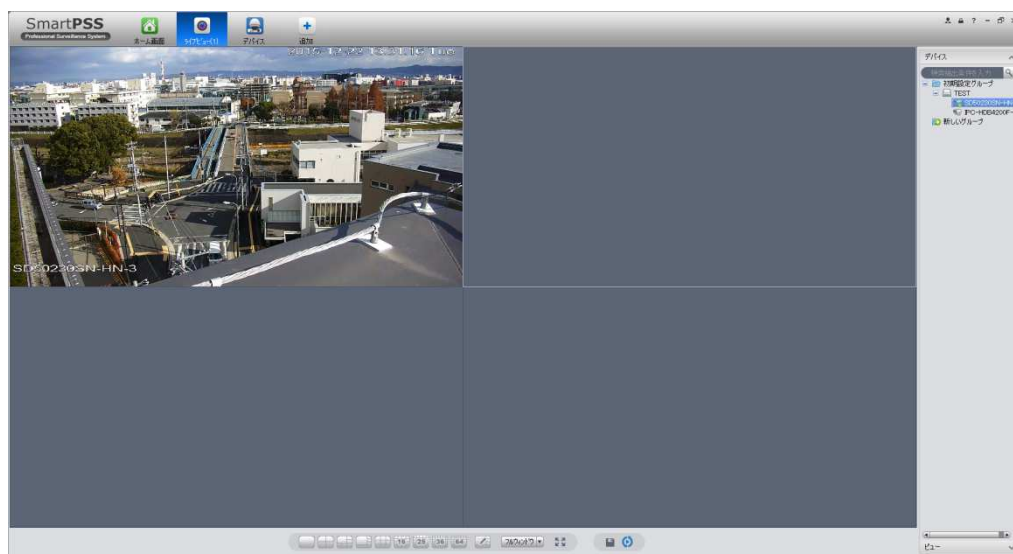
3.1.6. ライブビューの選択

表示された子画面から「ライブビュー」をクリックします。



3.1.7. ライブビューの表示確認

登録した P2P デバイスからカメラを選択すると、その映像が表示されます。



4. iDMSS での利用

4.1. 作業の前に

お手持ちのスマートフォンに、アプリケーションがインストールされている事をご確認下さい。

・iPhone の場合

事前に Apple Store から「iDMSS Lite」(本アプリケーションの利用は無料)をインストールして下さい。

・Android の場合

事前に Google Play から「gDMSS Lite」(本アプリケーションの利用は無料)をインストールして下さい。

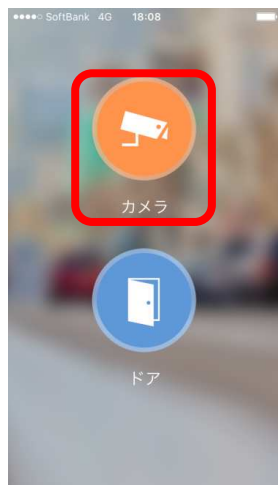
本書では、iDMSS Lite を例として説明します (gDMSS Lite と操作手順は共通)。

4.2. DMSS 操作

4.2.1. DMSS 起動

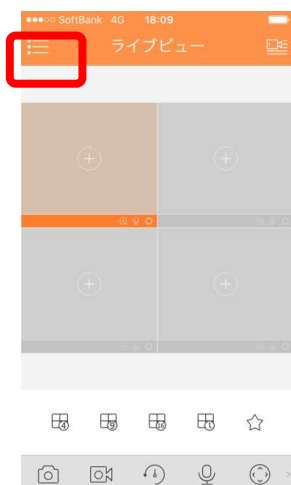
スマートフォンから DMSS Lite を起動します。

起動すると、以下の画面が表示されるので、「カメラ」アイコンをタップして下さい。



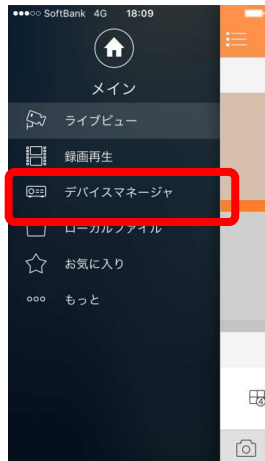
4.2.2. ライブビュー画面

以下の画面が表示されるので、図中のアイコンをタップして下さい。



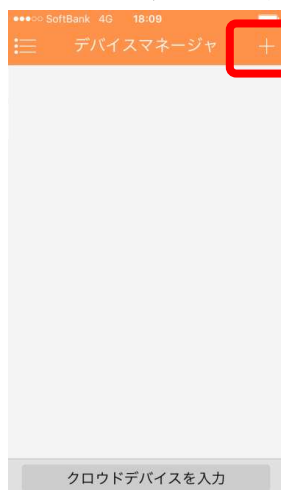
4.2.3. メニュー選択

以下の画面が表示されます。「デバイスマネージャ」をタップして下さい。



4.2.4. デバイスの登録①

以下の画面が表示されます。「+」アイコンをタップして下さい。



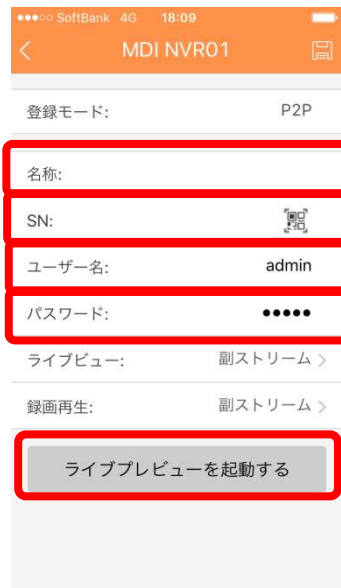
4.2.5. デバイスの登録②

以下の画面が表示されます。「P2P」をタップして下さい。



4.2.6. デバイスの登録③

以下の画面が表示されるので、必要な情報を登録して下さい。



名称: 任意の名称を登録して下さい。

S/N: レコーダのシリアル番号を登録して下さい。



をタップすると、カメラが起動します。カメラでレコーダの2次元バーコードを撮影すると、シリアル番号を自動入力する事ができます。

ユーザー名:

レコーダに登録されたユーザー名を入力して下さい。

パスワード:

登録したユーザーのパスワードを入力して下さい。

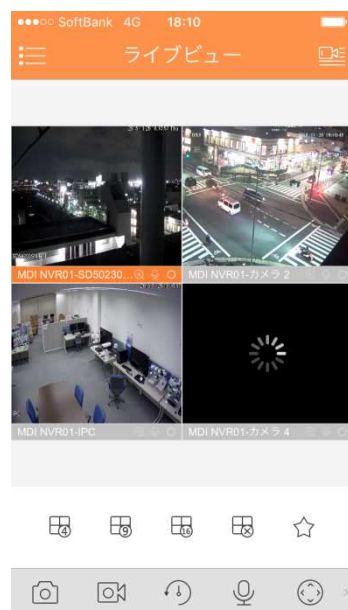
<注意>

「ライブビュー」「録画再生」は、「副ストリーム」から**変更しないで下さい**。
「主ストリーム」を設定すると、スマートフォンが膨大なパケットが消費します。それにより、お客様の**スマートフォンのパケットの通信契約量を超過する可能性があります**。

登録が完了したら、「ライブプレビューを起動する」をクリックして下さい。

4.2.7. ライブビューの表示

設定が成功すれば、以下のようにローカルサイトのレコーダのライブビューが表示されます。



以上